

自由空間八田

つくり手とオーナー、 来店者の思いが 自由に交わる空間

オーナーが惚れ込んだ作品を
展示・販売するギャラリーに、カフェや
レンタルスペースが併設された自由空間八田。
イベントやワークショップなども積極的に開催し、
新たな感性や楽しみを伝えています。

作品を見た感動が原動力
一から店を立ち上げる

八田町の住宅街にひそむ自由空間八田。日本家屋独特の木の温かみが感じられる店内には、かばんやガラス細工などの作品が展示されています。窓からは庭園が眺められ、ほっとする空間が広がっています。
オープンして約10年前、輸入車ディーラーで営業をしていた頃です。名古屋市内の会員制カフェでKIM HONOさんと作家がつくった陶器の時計を見て、自由で力強い美しさに強い衝撃を受けました。その大

きな感動が店をつくる原動力になったんです」と話すのは、オーナーの鬼頭拓真さん。瀬戸市にあるKIM HONOさんの工房を訪ね、作品と真摯に向き合う姿に大きな感銘を受けたと振り返ります。
「当時は自分の生き方を見つめ直していた頃。心から良いと思える作品を、作者の思いや背景とともに紹介する仕事に就きたいと思いました。」
やがて、会社を退職。本格的にオープン準備に着手します。
店舗の場所探しで相談を持ちかけた1人が、現在、暮らしの提案誌「棲」の発行人である、兼松はるみさんでした。兼松さんは平成14年ま



で東区でカフェ「自由空間」を運営。



1 色とりどりのバルーンを使った作品。今年の1月には、店内を埋め尽くすほどたくさんのバルーンが展示されました。2 カフェで使用されているカップもKIM HONOさんの作品。一つひとつ違う形をしています。3 ルーブル美術館に展示経験があり、内閣総理大臣賞も受賞している東京のビーズ作家の作品。4 店を始めるきっかけになったというKIM HONOさんの時計。店内には10個ほど時計が飾られています



1 色とりどりのバルーンを使った作品。今年の1月には、店内を埋め尽くすほどたくさんのバルーンが展示されました。2 カフェで使用されているカップもKIM HONOさんの作品。一つひとつ違う形をしています。3 ルーブル美術館に展示経験があり、内閣総理大臣賞も受賞している東京のビーズ作家の作品。4 店を始めるきっかけになったというKIM HONOさんの時計。店内には10個ほど時計が飾られています

「ゆっくり見ていただきたいので、ドリンクやフードをお出しするカフェも併設しています」と鬼頭さん。

オーナーが愛する作品を展示 イベントなども企画

現在、作品を展示販売している作家は5人。KIM HONOをはじめ、名古屋の帯細工職人とマクラメ編み作家、埼玉のバッグ職人、長野のグラスバーナーアーティストなど、いずれも鬼頭さんが心から惚れ込んだ作家ばかりです。

最初に始めたのは家屋の整備でした。床の張り替えや柱の補強など大幅に改装し、室内に残されていた食器棚や座卓などは、そのまま再利用。屋根裏に眠っていた建具をカウンスターの腰壁に使うなど、日本家屋の趣を生かした店づくりを進めます。

「ゆっくり見ていただきたいので、ドリンクやフードをお出しするカフェも併設しています」と鬼頭さん。

芸術を通じた気付きを 地域の人に伝える

居心地の良い空間をつくるため、入店客を一定数に限定するなど、独自の工夫も凝らしています。
イベントの開催にも注力。これまでに、世界大会で優勝経験があるパルーンアーティストの作品展や、国内外で活躍するヴァイオリニストのライブなどを実施しています。また、レンタルスペースを利用した元宝塚歌劇団員による朗読ドラマ教室や、貴重なつづれ織り機を使った機織り体験会、歌舞伎の隈取を体験できるワークショップなど、参加型の企画も開催しました。

1年の集大成といえるのが、平成28年から2年連続で開催している周年記念特別ライブ。毎年1月、中区の名古屋能楽堂に日本舞踊家やヴァイオリニストなどさまざまなアーティストを招き、音楽ライブを開催しています。

今年8月には株式会社創造感性企画を設立。「これからは会社組織として、さまざまな作家さんのプロデュースを

ユースやサポートを積極的に行って いきます。地域も巻き込んで、楽しいイベントを企画したい」と先を見据えます。

「何か一つのことを極めてきた方の作品には強いメッセージがある。多くの人に作品を見てもらうことで、『こんな考え方があるんだ』という新たな気付きや、強い信念を持ち続けることの大切さを伝えていきたい。」



自由空間八田のオーナーで、株式会社創造感性企画の代表取締役である鬼頭拓真さん。展示している作品の一つひとつに思い入れがあります

温かみのある店内に、数々の作品が展示されています。店の元となったのは築70年の日本家屋。一つひとつ異なる建具や障子、天井の梁など、建物自体にも見どころが豊富です



所在地
中川区八田町1002
(地下鉄八田駅より徒歩5分)
営業時間
11時～18時
(18時以降は予約制)
定休
木曜、毎月22日
(土日の場合は前後に振替)
電話
052-720-5217
※訪問前に電話で
問い合わせをください